

中北.com

地域教育情報紙

中北教育事務所
地域教育支援スタッフ

チウホクドットコム

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013

1

中北の地域社会 (COMmunity)の心の交流 (COMmunication)をめざします

笑顔でつなぐ “学校・家庭・地域”

中北教育事務所

所長 柴 茂生

新緑があちこちで芽吹き始め、着実に生命が躍動し、光が満ちあふれ、新緑の香り漂う爽やかな風が気持ちよい季節になりました。皆様方には、日頃より中北教育事務所の業務に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和2年度がスタートし早一ヶ月が過ぎました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小中高等学校の臨時休業のほか、図書館や社会体育館などの公共施設が休館となり、見通しのきかない不安を抱えた新年度のスタートになってしまいました。今は何より新型コロナウイルス感染症の収束を願うばかりです。

中北教育事務所におきましては、今年度7名の職員の転出入がありました。新たなメンバーを迎え、地域教育支援担当、学校教育担当、総務担当に、非常勤職員のスクールソーシャルワーカー、若手教員アドバンスティーチャーを含め、昨年度より1名増え、総勢25名体制でスタートしました。中北地区における教育行政の拠点として、また、山梨県教育委員会の出先機関として、管内各市町教育委員会や各小・中学校並びに関係諸機関と連携を図りつつ、職員一丸となって地域に開かれた教育行政の推進に努めてまいりたいと思います。

具体的な地域教育支援担当の業務ですが、学校・家庭・地域社会の連携推進に関することとして、「地域教育推進連絡協議会」及び「地域教育フォーラム」の開催や地域情報紙「中北.com」の発行を通して、行政・学校・地域との連携による教育力の向上を図っていきます。また、知事部局・教育関係機関・市町教育委員会・地域民間団体・福祉機関との連携を図るとともに、児童生徒の地域体験活動等への支援、保・幼・小・中・高・特・大の連携推進も行っています。

さて、次世代をになう子どもの健やかな成長は、社会全体の願いではありますが、近年、地域や家庭の教育力の低下、子どもの貧困、教師の負担増の問題等、子どもを取り巻く問題の複雑化や困難化が問題になっております。子どもたちを取り巻く多様な問題を共通課題としてとらえ、次世代を担う子どもたちの豊かな教育環境の構築に努めるとともに、学校・家庭・地域の連携・協働した取組の一層の推進を図り、地域の大人一人一人の力を子どもたちの笑顔のために結集させていきたいと思っております。

地域教育支援スタッフは今年度も2名体制となりますが、学校・家庭・地域社会の皆様が軟らかい心で感動・感激を分かち合えるよう、他の教育事務所との連携を図りつつ、域内の関係者と課題を共有する中で様々な事業・業務に全力で取り組んでまいります。

本年度も関係の皆様方には、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

中北.com no.1 コンテンツ

p1 中北教育事務所 所長あいさつ

p3 韮崎高校、県立青少年センター

p2 穂坂小学校、長坂小学校

p4 中北教育事務所 地域教育連携事業

臨時休業中の子どもたちを支える様々な取り組み

新型コロナウイルスの感染拡大という状況を受け、多くの子どもたちや教職員が長時間集まることによる感染のリスクから子どもたちを守るため、3月2日以降に全国の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における全国一斉の臨時休業を要請する方針が2月27日に内閣総理大臣より示されました。こうした政府の要請を受け、県内でも3月3日午後からの各学校の臨時休業が検討され、それぞれ学校や地域の実情に合わせながら、学校の臨時休業が実施されました。その後も県内で感染が広がる中、子どもたちの安全確保やさらなる感染拡大防止の観点から、学校の休業は続いています。そんな中、家庭で過ごす児童や生徒たちを支援しようとする取り組みが学校、教育委員会、市や町ぐるみで行われています。そこで今回は、そうした取り組みのいくつかをご紹介します。

新入生に向け、『待ってるよ〜』

韮崎市教育委員会

韮崎市内5校の小学校では、FMハケ岳「ニーラ韮崎スマイルニコリ」という番組を通じ、入学式が延期され、小学校の新入生に向けてウエルカムメッセージを送りました。メッセージの録音は各小学校で行われ、先生方から入学式を楽しみに待つ子どもたちに向け、小学校での生活や施設などの紹介が行われました。その一つ、韮崎市立穂坂小学校では、新1年生の担任の先生方から、穂坂小学校には富士山がよく見える展望台や冬になるとスケートを楽しめるスケートリンクがあること、優しい上級生が新1年生の入学を待っていることなどが伝えられました。担任の先生方は、穂坂小学校での学びはとても楽しいものであり、先生方自身も新入生に早く会いたいと強く願っていること、しかし今は大切な命を守ることが一番大事であることを伝えたいという思いを持って番組の収録に臨んだと語り、入学後、学校に通うのが楽しみになる情報とともに、入学式を待つ子供たちを励ます先生方の温かな思いが伝わるメッセージとなりました。



写真提供 韮崎市教育委員会

学校休業中の過ごし方アドバイス

北杜市・北杜市教育委員会

一方、北杜市と北杜市教育委員会は、市役所からのお知らせ、地域の出来事や話題などを放送している自主放送CATV番組「週刊ほくとニュース」の中で、市内の小中学生に向けたメッセージを放送しました。北杜市内の小中学校の先生方は、学校ごとそれぞれに趣向を凝らした動画を制作、学校が臨時休業中も子どもたちに心身ともに健康で元気に過ごしてもらいたいという思いを伝えました。北杜市立長坂小学校の動画では、新型コロナウイルスに感染しない、そして周りの人を感染させないためにする手洗いやマスクの着用といった心がけの重要性、正しい手洗いの方法が伝えられるとともに、教科書に掲載されたQRコードの活用といった学習のヒント、また運動不足を解消するためのストレッチや、「早寝早起き朝ごはん」といった生活リズムの維持の大切さなどが紹介されました。教室や校庭など、学校のさまざまな場所から先生方が明るく子どもたちに呼びかける様子から、休業中であっても子供たちとつながりを持ち続け、勇気づけたいという強い思いが伝わる動画となりました。



写真提供 北杜市 秘書広報課 広聴広報担当

ICTを活用，学びを止めない

山梨県立韮崎高等学校

学校の休業が続く中であっても、児童や生徒が休業前と同じように家庭で規則正しい生活習慣を維持し学校再開後を見据えて家庭でも継続的に学習することができるよう、学校は教科書や併用の教材等に基づく家庭学習を課すこと、またそのために児童生徒の学習状況を把握し、その状況を指導に生かしていくことが求められています。そしてそのためにICTを最大限活用することが推奨されており、オンライン授業によって、児童生徒の家庭での学習を支援する学校が増えています。山梨県立韮崎高等学校では4月16日（木）、オンライン授業を導入するための職員研修会が行われ、授業動画の作成方法などについて理解を深めました。その後は各教科・科目の先生方が單元ごとに授業動画を作成し配信するなど、全校で休業期間中の生徒の学習を保障するための取り組みを行っています。このうち3年生の英語の授業では、パワーポイントのスライドデータにナレーションをつけて動画にし、生徒に配信。プレゼンテーション中にペン機能を使って書き込みをすることで、視聴する生徒たちに解説を聞きながらペンの動きを追わせ、つまずきやすい部分に注意を引きつけるとともに、生徒たちに「今、まさにこの場で授業を受けている」というライブ感を与えています。授業を受けた生徒からは、「普段指導を受けている先生の声を聞くことで、自宅でも学校の教室で勉強しているような気持ちになる」「テキストを自分でやると、先生の解説つきでやるとでは集中力が違いとても良かった」などといった感想が寄せられているといい、学校休業中であっても生徒の学習を支え、学びを継続させるためのさまざまな工夫が行われている様子がうかがえました。



写真提供 山梨県立韮崎高等学校

大空の下，心も体も解放

山梨県立青少年センター

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための学校の臨時休業が続いたことで、子どもたちの運動不足やストレスなど児童生徒の心身の健康が懸念されました。そこで4月11日（土）、山梨県立青少年センターは、大空の下、親子で楽しめる遊びの機会を提供しようと、紙飛行機を作って実際に飛ばすイベントを同センターのグラウンドで行いました。青少年センターの管理運営を受託している公益財団法人 山梨県青少年協会は、今年で創立50周年。青少年に活動，研修，交流の場を提供することにより、豊かな感性と創造性を育み、心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的に、自然体験や奉仕体験などの体験活動を推進する事業や子どもや親子の自由な遊びやふれあいを促進する事業などを行ってきました。今回も、その長きにわたる経験により培われたノウハウを活かし、親子が自然の中でのびのびと楽しんでもらえるものと考え、イベントを企画したといいます。この日参加した親子は22名。それぞれ、来場前に検温を済ませ、受付時には消毒用アルコールで手指を消毒、また全員がマスクを着用した上、感染拡大を防ぐためのソーシャルディスタンスの保持に配慮するなど、万全な感染症予防対策を行いながら、紙飛行機づくりに取り組みました。親子でコミュニケーションをとりながら作り上げた紙飛行機はかなり遠くまで飛び、それを追いかける子どもたちもひさしぶりの外遊びを十分に楽しんだ様子。参加した保護者からも「この時期に外で家族で楽しむことができよかった」などの声が聞かれ、このイベントが親子の心も体も解放する貴重な機会となりました。



令和2年度 中北教育事務所 地域教育連携事業について

中北教育事務所地域教育支援スタッフは、今年度も地域の教育機能の向上、学校・家庭・地域社会の連携の促進、家庭教育への支援、学校の教育活動への地域の活力の導入・活用、地域コミュニティの育成等に取り組み、地域教育の推進及び市町村教育委員会への支援を図っていきたいと思います。関係各位の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



〈主な業務内容〉

- ・異校種間授業参観『公開できる授業等一覧』作成・配布
- ・『中北地区子育て相談窓口・教育相談窓口案内』作成・配布
- ・県生涯教育課，高校教育課，高校改革・特別支援教育課事業への協力

(少年海洋道中，高校生インターンシップ推進事業，放課後子ども総合プラン，各種アンケート等)

- ・地域教育情報紙『中北.com』の発行 ※年間6回発行予定
- ・地域教育推進連絡協議会『中北地区地域教育推進連絡協議会』の運営

・第1回中北地区地域教育推進連絡協議会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため，中止といたします。

~~日 時 令和2年6月18日(木) 14:00～16:30~~

~~場 所 北巨摩合同庁舎 101会議室~~

~~協議会 総会及び情報交換会~~

~~研修会(講演会)~~

・第2回中北地区地域教育推進連絡協議会

日 時 令和3年1月28日(木) 14:00～16:30

場 所 北巨摩合同庁舎 101会議室

協議会 事業報告及び情報交換会

研修会(講演会)

演 題 「児童虐待の現状と課題」 ～今，私たちにできること～ (仮題)

講 師 山梨学院短期大学 保育科教授 樋川 隆 氏

・中北地区地域教育フォーラム

日 時 令和2年10月22日(木) 14:20～16:20

場 所 甲斐市双葉ふれあい文化館ホール

研修会(講演会)

演 題 「学校・家庭・地域でできるストレスマネジメント」 (仮題)

講 師 山梨県総合教育センター 相談支援部 主幹・指導主事

一瀬 英史 氏

今後の状況により，予定は変更になる可能性があります